

町立の認定子ども園設置を！



石内 國雄



町長

現有施設の有効利用を考慮して判断したい

質問 専業主婦が当たり前の社会から、現在は夢・希望の対象となり、両親がともに働いている家庭が普通になっている。共働き家庭への子育て支援として、町立の認定こども園設立の計画はあるか。

答弁 町長 認定こども園については、町内の私立幼稚園が平成29年度からの移行に向けて準備しており、町内で2例目となる。町立の認定こども園については、公立・私立を問わ



共働き家庭の子育て支援充実を

ず幼稚園、保育所、認定子ども園を総合的に検討し、現有施設の有効利用も考慮して設置について判断したい。

保育料の軽減を！

質問 保育料の現状はどうか。

答弁 町長 保育所の保育料は保護者の課税状況により、3歳以上児2万3000円、3歳未満児は4万3000円を上限に、幼稚園の保育料は月5000円を上限に定めている。

答弁 子ども育成課長 保育料は平成27年度実績で平均約2万円であり、その中に給食材料費(約5500円)が含まれている。

答弁 学校教育課長 幼稚園は保育料のほかに給食費3450円をいただいております、合わせると月の負担は8450円になる。

質問 保育所と幼稚園で預かる時間に差があるものの、

保護者の負担額があまりにも違う。

幼稚園の負担額を目安に保育所保育料の負担額軽減を図れないか。保育料基準額の見直しや補助等の考えはどうか。

答弁 町長 小学生の給食費半額補助については、来年度からやりたいと思っておりますが、保育所・幼稚園については町の財政負担を考慮し、検討していきたい。

スズメバチ等の駆除を！

質問 通学路(私有地)のスズメバチ等の駆除を町ができないか。

答弁 生活環境安全課長 スズメバチは危険であるため、駆除や補助をしている近隣市の状況を把握し、町も検討していきたい。

副町長就任による今後の町政運営について



浅見 武志



町長

「財政の健全化」「人口減少対策」に大いに期待する

質問 8月25日に開催された玉村町議会第3回臨時会において、副町長の選任に関する議案が町長から提出され、全会一致で同意となった。

その結果、9月1日から新たに宮川清吾副町長が就任したが、町長は今後の町政運営について副町長にどのような役割を期待しているのか伺う。

答弁 町長 副町長の役割は、町長である私を補佐するとともに、私の命を受けて町政の政策及び企画をつかさどり、



二人三脚で町政を運営

職員に担任する事務を監督することである。副町長には、県職員時代の知識・経験、そして人脈を生かして、町の抱えるさまざまな行政課題にその手腕を発揮していただき、町の発展のため尽力いただきたい。

特に、私の公約である「財政の健全化」や「人口減少対策」には、その実行力を大いに期待している。変化をいとわず、町の職員の先頭に立って、県中に位置する玉村町の可能性を熱意を持って開拓していただきたい。

花火大会を観光資源とし、町のイメージアップに

質問 たまむら花火大会は今年で28回を数え、本町の夏の風物詩として、また田んぼのど真ん中で打ち上げられ、間近で見ることが出来る迫力ある「田園夢花火」として、全国的にもその知名度は定着してきている。

そこで、この花火大会をさらに盛り上げ、貴重な観光資源として活用することにより、町のイメージアップにつなげていくことができると思うが、町の考えを伺う。

答弁 町長 第28回たまむら花火大会は天候にも恵まれ、すばらしい田園花火をお見せできた。しかしながら、花火大会会場周辺の駐車場確保が課題であるため、会場周辺の調査を実施したい。その上で安定した運営ができることが前提であるが、有料観覧席販売についても導入を検討したい。

なお、一部運営業務委託をしている事業者とも連携を図りながら検討を進めていきたい。